

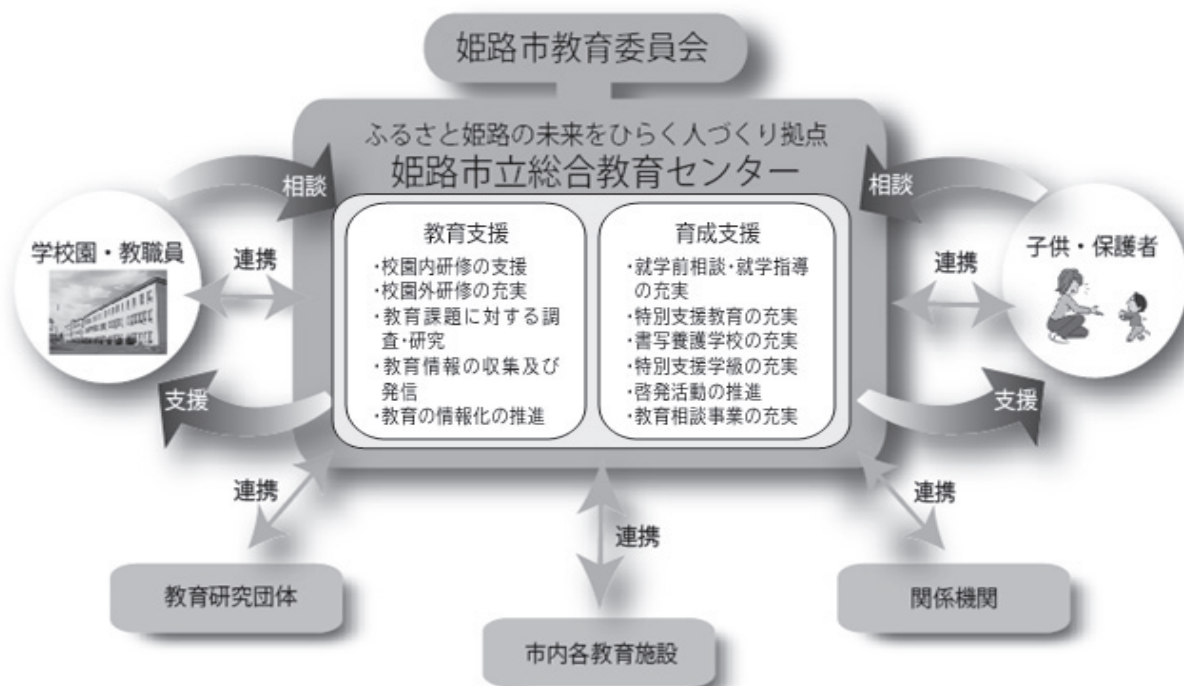
第 6 章 総合教育センター

1	施設の概要	48
2	教育支援	49
3	育成支援	54

1 施設の概要

総合教育センターは、平成 20 年 12 月に策定した本市独自の教育改革構想「魅力ある姫路の教育創造プログラム」において、本市学校教育を支援する拠点施設として位置付け、教育研究所、教育相談センター及び少年愛護センターの 3 施設の機能を統合・融合して、平成 22 年 4 月に開設した。

本センターは、教職員の研修や研究・カリキュラム開発支援などの教育支援機能、子ども・保護者・教職員からの相談に一元的に対応できる相談機能、関係機関や地域と連携した支援・健全育成などの育成支援機能、連携支援や地域支援による特別支援教育への支援機能を併せ持っている。また、中播磨第一教科書センターを併設している。



◇名称 姫路市立総合教育センター

◇位置 姫路市北条口三丁目 29 番地

◇敷地面積 9,710㎡

◇建物の概要

- 本館
 - ・鉄筋コンクリート造、3 階建、延床面積 3,976㎡
 - ・事務室、会議室、研修室、教材開発室、教育図書・資料室、相談室等
- プレイルーム棟
 - ・鉄骨造、平屋建、延床面積 185㎡
 - ・プレイルーム
- ビオトープ棟
 - ・鉄筋コンクリート造、平屋建、延床面積 100㎡
 - ・ビオトープ
- 南館
 - ・鉄骨造、2 階建、延床面積 952㎡
 - ・講堂（クレアホール）、活動スペース

◇開館時間 午前 8 時 35 分～午後 6 時（月曜日～金曜日、第 1・第 3 土曜日）
※第 2・第 4 金曜日午後 9 時まで

◇休館日 土曜日（第 1・第 3 土曜日を除く）、日曜日、祝日、
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

2 教育支援

(1) 教育研究への支援

① 校内外研修活性化支援事業

年度当初に全学校園が作成した計画書に対して指導・助言を行い、校内（園内）研修における授業（保育）研究を活性化させるとともに、年度末の報告書によって適切な評価を行い次年度への改善を促す。

ア スペシャリスト派遣事業

希望する学校園に高い技術をもつ教員や先進的な授業（保育）研究を行っている研究者等の専門家（スペシャリスト）を派遣し、学校園が具体的に授業（保育）改善を講じる機会を設定する。

イ 授業力向上推進校

兵庫教育大学との連携協定に基づき、授業力向上や指導力改善を図ることを目的とした授業力向上推進校を指定し、兵庫教育大学教員を派遣して校内研修や学力及び生活調査などに対する助言を受ける機会を設定する。

ウ 教育実践研究助成

魅力ある学校園づくりや特色ある教育活動を進めるため、職員の教育実践研究に係る経費を助成することにより、教職員の資質・能力・意欲の向上を図るとともに学校園改革の推進を支援する。

研究期間	校 園 名	研究テーマ
令和5年度～ (3箇年)	豊 富 小 中 学 校	子どもが自らの学びを自覚できる主体的な学びの創造 ～「情報活用能力ベーシック」に基づく探究的な学びを通して～
	四 郷 学 院	基礎・基本の学力の確実な定着を図るための学習規律の確立
	青 山 幼 稚 園	多様な体験を通して、人と関わる力を育む ～ 豊かな自己表現で、自分の思いも友達の思いも 大切にし合える関係を育む教師の援助 ～
令和6年度～ (3箇年)	白 鷺 小 中 学 校	白鷺発、未来を創造しようとする子どもの育成 ～地域とつながる探究的な学習を通して～
	安 室 東 小 学 校	「主体的・協働的に追求し、未来につなぐ社会科学習の創造」 ～学びを価値づけ、自分と「ふるさと」・世界を学ぶ授業作り～
令和7年度～ (3箇年)	山 陽 中 学 校	ファシリテーション活動で培った思考力と環境で、自ら探究していく生徒を育てる ～教師も共に探究する～
	鹿 谷 中 学 校	自ら考え行動できる生徒の育成 ～地域の特色を生かした食育を通して～
	英 賀 保 幼 稚 園	心を動かし 夢中になって遊ぶ幼児の育成 ～わくわくいっぱい環境構成や援助の工夫～

② 教育研究員制度（研究協力校）

今日的な教育課題解決のためのテーマを設定し、実証的研究を行うことで、学校園における教育実践の改革に役立てる。

研究期間	研究員（研究協力校）	教 育 研 究 テ ー マ
令和6年度～ (2箇年)	小・中・特別支援学校 教諭 4名	教師力アップデート研究班 「教師力アップデート！自らの考えや課題を更新できる子供の育成を目指して」
令和7年度～ (2箇年)	小・高等学校 教諭 3名	ワクワク授業づくり研究班 「探究的な学びをとり入れた子供も大人もワクワクする授業づくりを目指して」

③ D X推進校制度

1人1台端末の効果的な活用や、校務D Xによる業務の効率化を実現するため、教育委員会と連携しながら、学校全体で先進的な取組を行うとともに、実践的な研究を行う。また、その成果を市内に広めることにより、本市におけるD X推進を図る。

研究期間	D X推進校	主な研究内容
令和7年度 (1箇年)	中学校（2校） 東中学校 東光中学校	- 心の健康観察の実証研究 - 生成A Iを用いた校務D Xの研究 - デジタルとアナログのバランスの取れた学びを実現する授業研究 - 総合的な学習の時間での Google Workspace 等を用いた探究的な学びの研究

④ 自主研究会支援

教職員の自主研究グループへの研究場所・研究資料・機器等の貸出及び助言など、活動支援を行う。

【自主研究会】 S S T A 兵庫支部理科教育研究会、生活科・総合的な学習自主研究会、教育条件向上自主研究会、特別活動自主研究会、小学校社会科自主研究会、図画工作科自主研究会、幼稚園教育自主研究会、特別支援教育自主研究会、姫路一燈を掲げる会、新算数教育研究会姫路支部、みんなで話そう p4c 自主研究会、道徳科授業を考える会、国語科教育自主研究会

⑤ 教育図書・資料室・教材開発室の整備

教職員の「わかる授業」づくりの支援を行う。

- ・研究資料として最新の教育図書・定期購読誌、研究紀要の閲覧・貸出
- ・学習指導案の閲覧

⑥ 視聴覚ライブラリの充実

学習・教材用として各種メディアによる映像コンテンツを保有・整備し、視聴・活用できる環境を提供する。

- ・機器（ビデオデッキ、DVD プレーヤー、プロジェクタ、16 ミリ映写機等）の貸出
- ・教材ソフト（DVD、ビデオ、16 ミリフィルム映画）の視聴と貸出

(2) 教育の情報化の推進

先端技術を活用した質の高い教育環境を実現するため、ICT 機器及びネットワークシステムの計画的整備・更新を図る。また、機器環境整備、研修・研究、授業支援等を総合的に推進することで、学校における授業改善や1人1台端末の活用推進に向けた支援を行う。加えて、統合型校務支援システムの安全で安定した管理を行うことで、校務の効率化を図る。

① 教育情報システムの運用

教職員が使用する統合型校務支援システムや教材コンテンツ配信などの機能を有する教育総合情報ネットワークシステムに係る機器・機能の管理・運用を行う。

② ひめじ e-教育プロジェクト

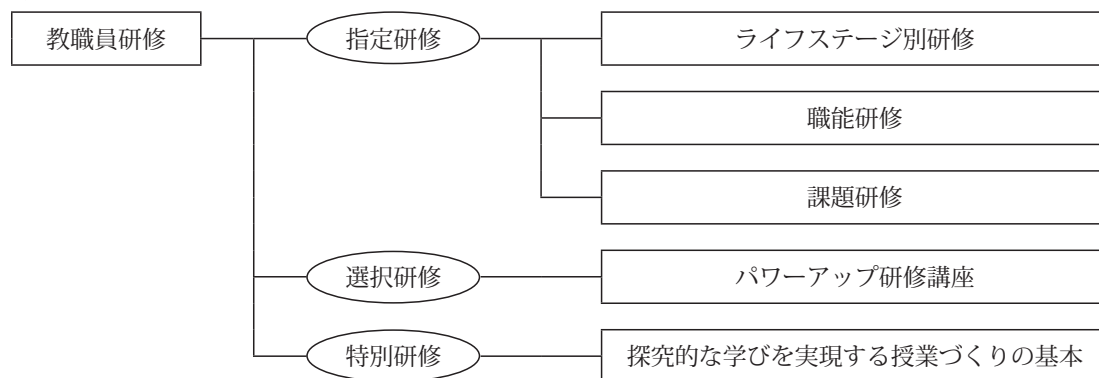
ICT 機器の拡充や学校におけるネットワーク活用率の向上を受け、教職員の ICT 活用指導力のさらなる向上を図る。また、わかる授業づくりを支援するなど、本市における教育の情報化を推進する。

③ ICT 機器環境整備

市立小・中・義務・高・特別支援学校の校務用及び学習者用端末や電子黒板等の機器、通信環境やアカウント等を整備する。

(3) 教職員研修

姫路市における教職員研修を教職経験年数や職能に応じて体系化し、教育現場で求められる教職員の資質・能力を総合的に高める。



① ライフステージ別研修

研修名	対象	主な内容	実施回数等
初任者研修	小・中・義・特別支援学校の新規採用教員	教職教養・授業研究・学級経営・生徒指導・ICT活用等、教員としての基礎的な資質・能力の涵養を図る研修	年間14回
2年次研修	小・中・義務教育学校の教職経験2年目の教員	初任者研修の成果を踏まえ、授業研究や生徒指導に関する研究協議を通して、学び続ける教員としての基礎となる資質・能力の向上を図る研修	年間4回
3年次研修	小・中・義務教育学校の教職経験3年目の教員	初任者研修や2年次研修の成果や課題をもとに、授業づくりに重点を置いた研究協議を行い、授業力や教師力の向上を図る研修	年間2回
5年次相当研修 共通研修	小・中・義・特別支援学校の教職経験4～5年目の教員	生徒指導やデジタルリーフレットについて、体罰・非遵行為・ハラスメントの防止等基本的な教育課題について改めて学び、教員としてのさらなる資質・能力の向上を目指す研修	年間1回
中堅教諭等 資質向上研修 共通研修	幼稚園、小・中・義・特別支援学校の教職経験が10年を経過した教員	教科指導・生徒指導や教育課題に関する研修を行い、これからの教育活動に対する課題や目標を明確にする研修	年間1回
15年次相当研修 共通研修	小・中・義・特別支援学校の教職経験12～15年目の教員	特別支援教育やデジタルリーフレットについて、体罰・非遵行為・ハラスメントの防止等に関する研修を行い、ミドルリーダーとして学校運営に参画する能力の向上を図る研修	年間1回
フォローアップ セミナー	小・中・義・高・特別支援学校の教職経験が10年未満の教員及び臨時的任用教員	対象教員が有している教育課題の解決を図り、指導力の向上を図る研修	年間2回
幼稚園教員研修	幼稚園の園長・主任教諭以外の教員	幼児一人一人の発達の特性に合った質の高い教育を提供するための指導力向上を図る研修	年間3回
ブラッシュアップ セミナー	小・中・義・高・特別支援学校の教職経験が概ね10年以上の教員	今日的教育課題等に関する研修を行い、ミドルリーダーとしての資質・能力の向上を図る研修	年間2回
臨時的任用 教員研修	本年度新規に採用された小・中・義・特別支援学校の臨時的任用教員	初任者研修に準じて、授業づくりや生徒指導の在り方等、教員としての基礎的な資質・能力の向上を図る研修	年間2回

② 職能研修

研 修 名	対 象	主 な 内 容	実施回数等
園 長 研 修	幼稚園の園長・主任教諭	幼稚園経営上の諸課題について協議を行うとともに、課題解決の方途を探る研修	年間 2 回
校 長 研 修	小・中・義・特別支援学校の校長	学校経営上の諸課題について協議を行うとともに、課題解決の方途を探る研修	年間 1 回
教 頭 研 修	小・中・義・特別支援学校の教頭及び副校長	学校事務に関する研修や学校経営上の諸課題について協議を行うとともに、課題解決の方途を探る研修	年間 2 回
主 幹 教 諭 研 修	小・中・義・特別支援学校の新規主幹教諭	主幹教諭の役割と学校経営への参画等についての研修	年間 2 回
特別支援教育コーディネーター研修	幼稚園、小・中・義・高・特別支援学校の特別支援教育コーディネーター	特別な支援を必要とする子供たちへの教育・支援の在り方等についての研修	年間 1 回
特別支援学級担任者研修	小・中・義務教育学校の特別支援学級担任者（特別支援学級担任経験通算 3 年以下）	特別支援教育の推進と充実を図る研修	年間 2 回
学 校 事 務 職 員 研 修	小・中・義・特別支援学校の学校事務職員	学校事務職員としてライフステージに応じて必要な資質・能力の向上を図る研修	年間 7 回
養護教諭研修	小・中・義・高・特別支援学校の養護教諭	学校保健・学校歯科保健等に関して、実践的指導力の向上を図る研修	年間 2 回
栄養教諭研修	小・中・義・特別支援学校の栄養教諭	食育の推進等についての研修	年間 2 回
安 全 防 災 担 当 者 研 修	幼稚園、小・中・義・高・特別支援学校の防災担当者	学校における防災教育についての研修	年間 1 回

③ 課題研修

研 修 名	対 象	主 な 内 容	実施回数等
課 題 研 修	幼稚園、小・中・義・高・特別支援学校の教職員	喫緊の教育課題や現代的な教育課題に対応できるよう教員としての資質・能力の向上を図る研修	年間 6 回

④ パワーアップ研修講座

研 修 名	対 象	主 な 内 容	実施回数等
パワーアップ研修講座	幼稚園、小・中・義・高・特別支援学校の受講を希望する教職員等	教科指導・教育課題等について、教職員の様々な研修ニーズに応え、スキルアップを図る研修	年間 13 回

⑤ 探究的な学びを実現する授業づくりの基本

研 修 名	対 象	主 な 内 容	実施回数等
探究的な学び研修	小・中・義・高・特別支援学校の教員	授業や校内研修における探究的アプローチへのスキルアップを図る研修	年間 1 回

(4) 令和6年度実績

① 会議室・研修室の利用状況（令和6年度）

	令和6年度		前年比	
	使用回数（回）	人数（人）	増減回数（回）	増減人数（人）
合 計	1,584	26,834	▲ 363	▲ 3,260

② わかる授業アクションプラン

校 種	スペシャリスト派遣事業		授業力向上推進校	
	校園数	派遣回数	校園数	派遣回数
幼稚園	14	19	0	0
小学校	32	40	0	0
中学校	15	20	1	4
義務教育学校	0	0	0	0
高等学校	0	0	0	0
特別支援学校	0	0	1	5
小中一貫ブロック	10 ブロック	10		
合 計	71	89	2	9

③ 教育情報交流展（姫路きょういくメッセ）

【期間】令和7年1月30日（木）～2月1日（土）

【対象】市立学校園教職員及び保護者、市民

【会場・配信元】姫路市立総合教育センター

【再生回数】YouTube 750 回（教職員・保護者・市民向け）

【内容①】教育長あいさつ・研究協力校の取組発表・教育実践研究助成校の取組発表（動画を YouTube 配信）

開 催 日 令和7年1月30日（木）

内 容 教育長あいさつ 教育長 久保田 智子

研究協力校の取組発表

姫路市立神南中学校

「個々に『ゆだねる』ICT 活用の研究～学校生活の効率化と生徒の主体性の育成に向けて～」

教育実践研究助成校の取組発表

姫路市立山陽中学校

「知的好奇心を駆りたてて対話のある授業実践に向けて

～教科指導において、求められる生徒の力を育むための FT の効果的な活用について～」

【内容②】教育委員会の取組発信（動画を YouTube 配信）

開 催 日 令和7年1月31日（金）

内 容 姫路市の教育について

「子どもたちの未来のために～教育 DX の視点から～」

グループワーク研修

「教育 DX を各校で進めるための課題と課題解決に向けた方法」

【内容③】第8回ひめじ図書館を使った調べ学習コンクール表彰式

開 催 日 令和7年2月1日（土）

内 容 姫路市が推進する調べる力プロジェクトの一環として、「調べ学習コンクール」を実施し、表彰する。

【内容④】講演会（会場 アクリエひめじ ※ YouTube 同時配信）

開 催 日 令和7年2月1日（土）

講師：保育士・育児アドバイザー てい先生

演題：「てい先生のパパ・ママがきっと楽しくなる子育て」

【内容⑤】教職員の自作教材教具（オンライン展示及び総合教育センターにて展示） 7 点

④自主研究会

自主研究会グループ		令和6年度実績
S S T A 兵庫支部理科教育研究会	小学校社会科自主研究会	◇活動回数 46 回 ◇参加延べ人数 559 人
特別支援教育自主研究会	みんなで話そう p 4 c 自主研究会	
生活・総合自主研究会	図画工作科自主研究会	
令和の体育科教育について考える自主研究会	特別活動自主研究会	
新算数教育研究会自主研究会	教育環境向上自主研究会	
幼稚園教育自主研究会	道徳科授業を考える会	
姫路一燈を掲げる会	国語科教育自主研究会	

⑤ 学習者用端末整備数（令和7年3月現在）

48,382 台（令和3年度整備 1,526 台、令和6年度整備 46,856 台）

3 育成支援

(1) 教育相談・育成支援活動

不登校や問題行動、発達・学習における悩みなど、複雑化する子供の育ちに関する悩みに一元的に対応する教育相談総合窓口を設置し、子供の成長、実態に応じた適切な指導と必要な支援を行うため、専門的知識を有するスタッフによる相談を実施する。

① 電話相談

ア フリーダイヤル（0120－7830－28）による電話相談（姫路っ子悩み相談）を実施

イ 通常電話（224－5843）による電話相談を実施

※ 相談時間：月～金及び第1・第3土曜日 9時～17時（受付は16時まで）
第2・第4金曜日 9時～21時（受付は20時まで）

② 来所相談

様々な悩みや問題行動のある幼児、児童生徒、少年に関わる面接相談を実施

※ 相談時間：月～金 10時～18時、第1・第3土曜日 9時～17時（要予約）

※ 必要に応じて定期的な面接相談を実施している。

③ 訪問相談・支援

学校園訪問による相談・支援を実施

④ 専門医相談

専門医による児童生徒、少年にかかわる相談（相談者は、保護者・学校関係者等）を実施

※ 相談時間：毎月第3水曜日 14時30分～16時30分（要予約）

⑤ 教育支援教室（不登校を主訴として来所している児童生徒への相談を実施）

※ 姫路市立総合教育センターで実施している小集団活動

開設時間：【ふれあい】月・火・木・金 10時00分～14時20分

【きらぼし】（4月・8月・3月を除く）水 13時～14時30分

※ 出張型教育支援教室【すまいる】「広畑：月」「安富：火」「大塩：木」「香寺：金」を毎月第1・3の各曜日に実施（10時～12時）

※ 育成支援課職員と不登校支援学生ボランティアを派遣

⑥ あゆみの会

不登校児童生徒の保護者が互いに思いを語り合う会を開催

※ 開催日時：5月～2月 第3土曜日 10時～11時30分

⑦ 不登校悩み相談ほっとメール

不登校で悩む児童生徒自身が相談しやすい媒体として「不登校悩み相談ほっとメール」を開設し、学習者用アカウントを活用した相談窓口を提供

⑧ 自立に向けた支援

発達障害や、学校・社会生活への不適応のため、個別の支援を必要としている児童生徒・少年やその保護者への支援・相談・学校園所訪問を実施

(2) 特別支援教育

障害のある子供たちに対して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を受けることができるように教育、医療及び福祉機関が連携して必要な支援を継続的に実施する。

① 姫路市教育支援委員会

昭和 51 年から設置されていた姫路市障害児就学指導委員会を改組して、平成 26 年度から設置した。障害のある幼児、児童生徒の指導・支援・配慮の内容及び学びの場（特別支援学校・特別支援学級・通常学級）等について調査・審議を実施

② 特別支援推進事業

ア 〈連携支援〉

保護者からの申請に基づき、子供の個別の教育的ニーズに応じたよりよい学びの場や支援の内容について、保護者や学校園に助言を行う。また、連携支援ファイルを作成し、学齢期の一貫した支援を実施

イ 〈地域支援〉

学校園からの申請に基づき、子供の個別の教育的ニーズに応じた指導方法や「個別の指導計画」の作成等についての学校園への助言を通して、個別の支援を実施

ウ 〈特別支援推進員〉

連携支援と地域支援にかかる業務の推進を委嘱

③ 姫路市特別支援教育推進会議

本市の特別支援教育について今後の取組や課題について検討を行い、専門的な見地から意見を求めるため、姫路市特別支援教育推進会議を実施

④ 特別支援教育に係る人的配置

ア 特別支援教育支援員の配置

特別支援学級等に在籍している児童生徒及び通常学級に在籍している発達障害のある幼児児童生徒に対して、一人一人の実態に応じた学習支援や生活介助を目的として配置

イ 看護師の派遣

地域の学校園に通う医療的ケアを必要としている幼児児童生徒に対して、看護師を派遣し、医療的ケアを実施

ウ プール指導時助員の配置

特別支援学級および通常学級に在籍している個別の支援を必要としている幼児児童生徒に対して、プール指導時の介助を目的として配置

⑤ 書写養護学校の充実

ア 医療的ケア

喀痰吸引や経管栄養等を実施するための医療的ケアを姫路赤十字病院に業務委託し、看護師 9 名（教員に対して、社会福祉士および介護福祉法に基づく研修を行うための指導看護師を含む）を配置する。また、認定特定行為を行うための研修を受けた教員が県に登録して、特定の児童生徒に対する決められた医療的ケアを実施

医療的ケアが必要なため、スクールバスに乗車できない児童生徒に対して看護師同乗による介護タクシー派遣事業を実施

イ 特別支援学校のセンター的機能

書写養護学校の特別支援教育コーディネーターによる肢体不自由児、病弱児等への教育に関する指導助言、訪問指導を実施。また、特別支援教育に関する情報発信をするため講師を招聘して姫路市立学校の教職員を対象とした研修会を年3回開催

(3) 非行防止対策

青少年問題を、市民・地域社会全体の問題として課題の共有化を図り、関係機関（警察・少年サポートセンター・市立学校等）との連携、協議（関係学校連絡会・地域別連絡会）を実施するなど、青少年の健全育成に向けた地域ぐるみの非行防止対策活動を実施する。

① 補導活動

ア 少年補導委員の委嘱

地域の青少年健全育成の取組を支援するために、234名の少年補導委員を委嘱

イ 少年補導委員会への業務委託

日常的な補導活動に関する業務を姫路市少年補導委員会に業務委託

ウ 巡回補導

校区巡回補導活動、街頭補導、特別巡回補導、広域巡回補導の支援

② 薬物乱用防止教室

薬物の乱用を予防するために、警察と連携して、学校を対象とした防止教室を開催

③ ネットトラブル対策講座

SNSやインターネットの利用にかかわるトラブルを防止するために、学校や地域を対象とした防止教室を開催

④ 少年無職化防止対策

学校・事業所・関係機関と連携して、無職化防止対策事業を実施

⑤ 初発型非行等防止対策

初発型非行等防止対策会議：各種量販店や学校、警察等関係機関と連携して初発型非行等防止対策を協議・実施

⑥ 地域啓発活動

不審者対策や迷惑行為防止に向けた広報活動を実施

⑦ 環境浄化活動

関係機関と連携し、有害環境の実態把握に努め、青少年の健全育成に向けて環境改善に取り組む。

(4) 令和6年度実績

① 教育相談実施状況

		来所相談件数（延べ）	電話相談件数（延べ）	フリーダイヤル件数
対象者別	就学前	638 (9.3%)	250 (16.4%)	2 (2.2%)
	小学校	3,295 (48.1%)	948 (62.3%)	30 (33.3%)
	中学校	2,811 (41.0%)	298 (19.6%)	51 (56.7%)
	高等学校	113 (1.6%)	26 (1.7%)	7 (7.8%)
	その他	0 (0%)	0 (0%)	
相談者別	本人	3,970 (57.9%)	3 (0.2%)	3 (3.3%)
	教師	242 (3.5%)	337 (22.1%)	
	保護者	2,066 (30.1%)	1,044 (68.6%)	84 (93.3%)
	その他	579 (8.4%)	138 (9.1%)	3 (3.3%)
相談者合計		6,857	1,522	90

主訴別	いじめ	0	3 (0.2%)	5 (5.6%)
	不登校	3,978 (58.0%)	440 (28.9%)	27 (30.0%)
	学業・進路	1,944 (28.4%)	751 (49.3%)	18 (20.0%)
	友人関係	8 (0.1%)	3 (0.2%)	
	家庭・子育て	606 (8.8%)	220 (14.5%)	29 (32.2%)
	心身の健康・保健	10 (0.1%)	13 (0.9%)	
	発達障害等	274 (4.0%)	78 (5.1%)	4 (4.4%)
	非行・不良行為	17 (0.2%)	4 (0.3%)	2 (2.2%)
	暴力行為	6 (0.1%)	1 (0.1%)	
	虐待	0 (0%)	1 (0.1%)	
	体罰	0 (0%)	0 (0%)	
	学校・教職員との関係	14 (0.2%)	8 (0.5%)	2 (2.2%)
	その他			3 (3.3%)
合計		6,857	1,522	90

② 補導活動実施状況

	実施回数	参加人数	備 考
校区街頭巡回	2回／月	10,387人	少年補導委員が行う補導活動
広域補導	3回	9人	中・西播磨地区のイベントで行う補導活動
特別補導	2回	382人	ゆかた祭り、年末年始等で行う補導活動

③ 街頭補導（学校園からの依頼に応じて、育成支援課職員が行方不明者等の捜索に協力）実施状況

小学生	2人
中学生	5人
高校生	0人
合計	7人